

■ 特徴ある教員養成プログラム「ちゃぶ台プログラム」とは

皆さんのご自宅には「ちゃぶ台」がありましたか?「ちゃぶ台」とは昭和の頃に使われた四本脚の座卓のことです。上座、下座という上下の関係をさほど感じず、お互いの顔、身体や声にすぐ手が届く程よい距離にあり、ある時は温かく支え合い、ある時は厳しく激論を戦わせながら、人を育ててきた「家族の団樂と教育」のシンボルでもありました。教育学部では、その「ちゃぶ台」の魅力を取り入れた教員養成・教職研修事業「ちゃぶ台プログラム」に取り組んでいます。

学生たちが各地の学校を訪問し、授業参観、授業補助や子どもたちの生活、遊びの支援等を継続的・系統的に行う地域協働型教職体験を積み重ねています。

また、現職・大学職員や教育関係者と「ちゃぶ台」を囲み、議論を重ねながら、日々の教職体験や教育実践を省察し、課題解決力やコミュニケーション能力を高めています。

さらに、お互いが失敗や悩みを打ち明けながら、認め合い、助け合い、励まし合いながら、教職の「夢」や「あこがれ」を「志」に高め、教員としての資質能力の向上に取り組んでいます。

皆さん、一緒に「ちゃぶ台」を囲みませんか?ちゃぶ台ルームで皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



■ 附属施設の紹介

地域と教育学部・大学の架け橋 ―― 教育実践総合センター

学校教員の仕事は多様で、複雑な要素が絡み合っています。よい教員を育てるには地域の学校と大学の研究との協働の営みが不可欠です。

本センターは、学校のエデュケーション活動に関して、教育学部の各分野の研究と地域の教育機関とをつなぎ、教育の面から地域社会を支援すること、地域に貢献できる教員を育てることを目的としています。

具体的には、次のような活動を行っています。

- 情報教育、学校臨床に関する研究開発や地域支援
- 附属学校や、やまぐち総合教育支援センターとの連携による現職教員の研修支援
- 学生・学校教員・大学教員・地域教育関係者の交流による、教職志望学生や若手教員を対象とした協働型研修

教員養成・教育実践研究のパートナー 附属学校園

山口大学教育学部には、次の6つの附属学校園があり、学生の教育実習や教職指導、地域の教育課題に応じた教育実践研究や研修を担っています。

- 附属山口小学校
- 附属山口中学校
- 附属光小学校
- 附属光中学校
- 附属幼稚園
- 附属特別支援学校

■ お問い合わせ先

山口大学教育学部学務係
〒753-8513 山口市吉田1677-1
TEL: 083-933-5307
<http://edu.yamaguchi-u.ac.jp>



※作成:教育学部広報戦略部 2020.7版



教育学部



山口大学教育学部

教育学部はこんなところです

■ 学部長からのメッセージ

未来を担う子どもたちのために

教員の仕事というと教科の指導を思い浮かべる人も多いでしょうが、教員の仕事とは、未来を担う子どもたち一人ひとりが持っている可能性を最大限に伸ばす支援をすることだと考えています。そして、そのための基礎的な力を身につけるためには、子どもたちが実際にいる学校現場で様々な経験を積むことが必要です。



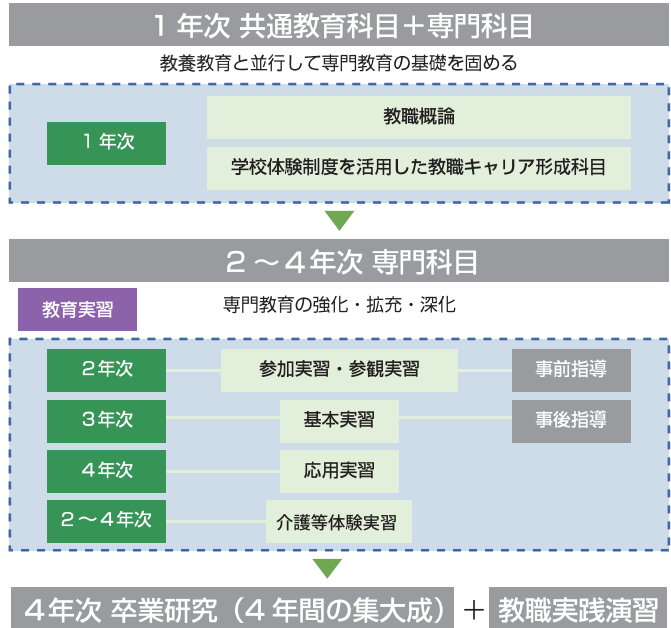
本学部では、1年生の早い段階から山口県内の学校現場での体験を取り入れ、さらに、教育実習だけでなく、「ちゃぶ台プログラム」などを通して、県内の学校現場で子どもたちと向き合う体験を数多く積むことができるようにしています。本学部では、このような学校現場での学びを大切に、学校現場での学びと学部での学びを結び付け、それを積み重ねていくことにより、教員としての基礎的な資質能力を身につけていく仕組みづくりに努めています。

教員として、未来を担う子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばす支援をしたいと思うみなさんを、本学部はお待ちしております。

教育学部長 丹 信介

教育学部		
学校教育教員養成課程		
小学校教育コース (入学定員 70 名)	小学校総合選修	教育学選修
	心理学選修	国際理解教育選修
幼児教育コース (入学定員 10 名)	特別支援教育コース (入学定員 10 名)	情報教育コース (入学定員 10 名)
教科教育コース (入学定員 80 名)	国語教育選修	社会科教育選修
	数学教育選修	理科教育選修
	美術教育選修	保健体育選修
	家政教育選修	英語教育選修
		音楽教育選修
		技術教育選修

学びのシステム



Q&A

Q 小学校教育コースには4つの選修がありますが、どのような違いがありますか？

A 選修ごとに特徴があり、「小学校総合選修」は学校や地域等において共感的・協働的に活動できる教員を、「教育学選修」は教育事象を深く問い直し柔軟に対応できる教員を、「心理学選修」は児童の発達に関する知識やカウンセリングマインドをもった教員を、「国際理解教育選修」は国際的な視野をもった教員を育てています。

Q 小学校の教員になるには、どのコース・選修を選ぶのがいいですか？

A 教育学部のすべてのコース・選修で、所定の単位を修得することによって、小学校教員になるために必要な小学校教員免許状を取得することができます。コース・選修によって、以下のような特徴があります。小学校教育コースでは、教育現場で生じている課題に対応する力をもつ小学校教員を養成します。小学校教育コース以外は、それぞれの専門分野を生かして、幼児教育コースでは幼小の学びを連携する力を、特別支援教育コースでは障がいのある児童一人ひとりに寄り添い支援する力を、情報教育コースではプログラミングやICTを活用した授業をする力を、教科教育コースでは教科に特化した力を身につけた小学校教員を養成します。いずれのコース・選修においても、それぞれの専門内容とともに、小学校教員に必要な基礎的な知識・技能を身につけることができます。自分にあったコース・選修を選んでください。

取得可能な教員免許状については教育学部HPをご覧ください。

教育学部の入試の種類

1. 特別入試

- ①総合型選抜
小学校教育コース小学校総合選修
- ②学校推薦型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない選抜)
小学校教育コース国際理解教育選修
幼児教育コース
特別支援教育コース
- ③学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課す選抜)
小学校教育コース小学校総合選修
- ④帰国生徒入試
小学校教育コース国際理解教育選修

2. 一般選抜

前期日程: 全てのコース・選修

3. 私費外国人留学生入試

全てのコース・選修
(小学校教育コース小学校総合選修を除く)
最新の入試情報は、入試情報HPにてご確認ください。

※教育学部では、令和4年度(令和3年度実施)入学者選抜において変更を行います。詳細は山口大学のHPをご確認ください。



(写真提供: 楳原研究室)





こんなことを学びます！

教育学部のコース・選修紹介

小学校教育コース

さまざまな現代的課題に対応できる小学校教員が今求められています。小学校教育コースは、小学校総合、教育学、心理学、国際理解教育の4選修で構成されています。理論と実践の融合によるカリキュラムと、選修間の協働の学びを基盤とし、実践的指導力を有する小学校教員を養成します。

▶ 小学校総合選修



地域での実践活動（下関）

子ども理解系・学習指導系・協働実践系の3系からなるカリキュラムにより、小学校教員としての軸をつくり、必要な資質能力を身につけます。実践的かつ総合力の高い教員となることを目指します。

▶ 教育学選修



授業風景（演習）

教育学選修は、人はなぜ学び続けるのか、より望ましい教育や授業方法とは何かを深く追究することで、教育問題に柔軟に対応でき、生涯学び続ける小学校教員を養成します。

▶ 心理学選修



箱庭療法の授業風景

心理学選修では4つの系（心理学基礎系、心理学実践系、心理臨床系、研究演習系）からなるカリキュラムを構成しており、さまざまな現代的教育課題に対応できる教員を養成します。

▶ 国際理解教育選修



ラオスの村の小学校で国際理解教育

Point
総合的な実践的指導力を有し、いじめ、不登校、多文化理解等の課題に対応できる小学校の教員を目指します。

幼児教育コース

幼児教育学・幼児心理学・保育内容の理論と実践について学び、多様な保育ニーズに応えることができる人材を養成しています。「子どものことは子どものいる場所で学ぼう」をモットーに、保育現場に密着したカリキュラムを組んでいます。附属幼稚園において、実際の保育に参加しながら実践的に学ぶ機会も多く取り入れています。



保育参加

Point

保育現場と連携を図り、確かな理論と高い実践力を身につけた保育者を養成します。

特別支援教育コース

特別支援教育コースでは、教育学、心理学、生理学・病理学などの講義・演習や、附属特別支援学校での教育実習を含むさまざまな活動を通じて、障がいのある児童生徒一人ひとりに「生きる力」を育成する実践的指導力を身につけた教員を養成します。



附属特別支援学校で“おおきなかぶ”を子どもたちと上演

Point

1年次から附属特別支援学校の児童生徒と交流します。ボランティア活動も盛んです。

情報教育コース

これからの学校現場には、情報教育・教科指導におけるICT活用・教育の情報化を推進できる人材が求められています。このコースでは、情報科学の専門性とそのための基礎的な数学の知識を有した上で、各学校種での教育の情報化の有り様を考え、その実現を組織的に推進していくICTが分かる・使える・教えられる教員を養成します。



ICTを活用した授業風景

Point

情報（高校）と数学（中学2種）もしくは、小学校の教員免許状を卒業と同時に取得できます。また、卒業要件以外の単位を取ることで、数学（高校）の免許状も取ることができます。

教科教育コース

国語、社会科、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家政、英語の10選修で構成され、中学校教員、高等学校教員および専門教科の指導に優れた小学校教員を養成します。幅広い教養と各教科に関する豊かな専門知識を有し、優れた授業実践力により、子どもの知的好奇心を高め、成長を促すことができる人材を養成します。

▶ 国語教育選修



基礎セミナー

「ことば」について、さまざまな面から考えをめぐらせることを通して、国語教育に携わることのできる教員を養成します。

▶ 社会科教育選修



研究室風景

私たちの生きる社会、その見方や考え方に関わる問題について、さまざまな観点から総合的に考えることのできる教員を養成します。

▶ 数学教育選修



基礎セミナー

社会における数学の価値を深く理解し、幅広い数学的問題解決力を身につけ、子どもたちの豊かな数学的思考を引き出すことのできる教員を養成します。

▶ 理科教育選修



理科学生実験（地学巡検）

物理・化学・生物・地学・理科教育に関する講義、実験、野外演習などを通し、科学好きな子どもを育てることができる優れた理科の教員を養成します。

▶ 音楽教育選修



ピアノのレッスン風景

演奏表現・音楽理論・教科教育法を網羅したカリキュラムのもとで音楽授業の指導力・実践力を高め、「心の教育」に貢献できる教員を養成します。

▶ 美術教育選修



山口県立美術館での卒業制作展

絵画・彫刻・デザイン・工芸・美術史・美術教育等の理論と実技を学ぶことを通して、図画工作と美術に強い「創造性」豊かな教員を養成します。

▶ 保健体育選修



「野外運動特習」の授業

体育・スポーツや健康づくりに関する知識・技能・指導法を学び、子どもたちの心身の成長、運動能力の向上や健康増進に貢献できる教員を養成します。

▶ 技術教育選修



授業風景

技術科教育法、材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報を学び、教員への情熱を有し、ものづくりに関心を持つ教員を養成します。

▶ 家政教育選修



災害時の調理に関する授業風景

家庭科教育・食物・被服・住居・保育・家庭経営について幅広く学び、主体的な生活者を育てることのできる教員を養成します。

▶ 英語教育選修



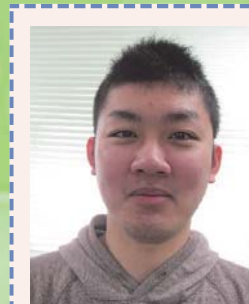
模擬授業

知識に裏打ちされた高い英語力と指導力を身に付けると共に、教育実習等の経験を通して、グローバル化や小中高連携の課題に対応できる教員を養成します。

Point

複数の免許状（中学校・高等学校の複数教科、中学校と小学校など）の取得を目指したカリキュラムとなっています。教科教育コースから小学校教員になった卒業生も大勢います。

在学生からのメッセージ



教科教育コース 理科教育選修
4年 福田 玲央

大学では一番好きな自然科学の勉強をしながら小学校教員を目指しています。所属している理科教育選修では、実験や観察の他に野外での地質巡検や、科学イベントにも参加し、自ら自然を体験しながら自然科学の楽しさを学ぶことができます。皆さんも教育学部で夢を叶えましょう。

みんな一緒に学ぼうよ

